

「『静かにねむれ』の和音で旋律づくり」(2時間扱い)

～題材4『和音のひびきの移り変わりを感じ取ろう』における(イ)*の指導事項を中心にした音楽づくり

*音楽づくりのア、イ及びウの各指導事項の(イ)

※この資料では、教科書の内容を踏まえて、友達と協力しながら音楽の仕組み「呼びかけとこたえ」を用いて旋律をつくる学習展開を示しています。

学習のねらい

- (1) 音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼びかけとこたえを用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。
- (2) 旋律、和音の響き、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。
- (3) 和音の響きやその移り変わりを感じ取りながら、呼びかけとこたえを用いて旋律をつくる学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組み、和音の響きに親しむ。

教材や教具

●「『静かにねむれ』の和音で旋律づくり」二次元コード

左下の **和音と低音をきく** の再生ボタンをタップして和音の移り変わりを聴き、どのような **音の上がり下がり** の旋律をつくりたいかをイメージする。その後、**和音にふくまれる音** の中から音をタップして選りながら友達と4小節や8小節の旋律をつくり、発表し合う。和音の響きを感じ取りながら呼びかけとこたえを用いて音や旋律のつなげ方を考え、つくった旋律を発表し合う。また、自分で音楽をつくったという実感をもてるようにするため、タブレット端末などを活用しつつ、鍵盤ハーモニカやリコーダーなど、実際の楽器も併用して自分で演奏しながら学習を進めていく。

主に扱う音楽を形づくっている要素

ア 旋律、和音の響き

イ 呼びかけとこたえ

評価規準

知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①知 音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。	①思 旋律、和音の響き、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、	①態 和音の響きやその移りわりを感じ取りながら、呼びかけとこたえを用いて旋律をつくる学習に興味・関心を持ち、音

②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼びかけとこたえを用いて、旋律をつくる技能を身に付けて旋律をつくっている。	聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。
---	--	--

学習の流れ

ステップ1 和音と低音の響きの移り変わりを聴き、二次元コードのコンテンツで旋律をつくる。

- 1 教科書P.34の「静かにねむれ」を歌い、指導者が弾く（もしくは教科書P.39の二次元コードのコンテンツで）和音と低音の響きの移り変わりをよく聴き、今後の学習の見通しをもつ。



今回は「静かにねむれ」で使われている、和音に合わせて旋律をつくっていきますよ。そのために、まずは、和音と低音の響きの移り変わりをよく聴きましょう。

ポイント

・「静かにねむれ」の歌唱の活動を振り返り、5～8小節目、13～16小節目と同じ和音と低音の移り変わりであることを確認してから、旋律づくりの学習に進みます。二次元コードのコンテンツを用いる場合は、低音を聴き取ることが難しいため、教師が鍵盤楽器で和音と低音を別々に弾くなどして、和音と低音の響きの移り変わりに注意して聴けるようにします。

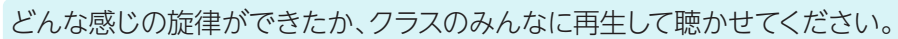
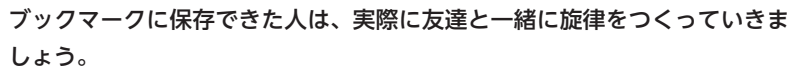
- 2 二次元コードのコンテンツを用いて、和音と低音の響きの移り変わりに合わせてペアで4小節の旋律を2小節ずつ分担してつくる（ワークシートを活用）。



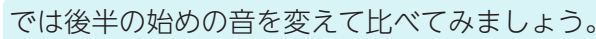
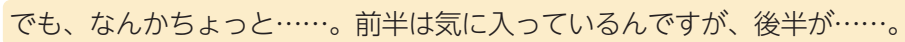
教科書P.39に旋律をつくるためのワークシートがあります。
その右上の二次元コードをタブレット端末で読み込んでみましょう。
「静かにねむれ」の和音で旋律づくり  をタップすると、教科書のワークシートと同じものが出てきます。

ポイント

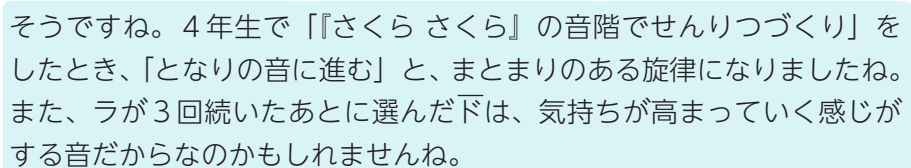
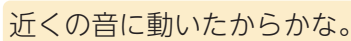
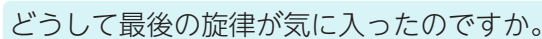
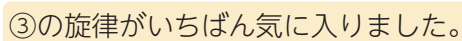
・二次元コードのコンテンツは、スリープ画面になると、そのつど読み込みをする必要があるため、旋律をつくる際には、ブックマークなどをして保存しておく扱いやすくなり、つくった旋律も同時に保存されます。



和音に含まれる音から選んで旋律をつくることができましたね。



どの旋律が気に入りましたか。



・子供たちは、ゲーム感覚で画面をタップしていくことでしょう。そのため、まとまりのない旋律ができることもあります。そのような場合、「しっくりこないところでほかの音をタップして選んでみる」や「となりの音を使う」など、今までの学習を生かして旋律づくりをするように助言します。また、和音のもつ特徴も生かして旋律のよさや面白さを価値付けると、和音の響きに合った旋律をつくることに意味が生まれてくるように思います。さらに、子供のよいところを学級全体で共有すると、自信をもって次の活動に取り組めます。



旋律が一つできたら「音の上がり下がり」をタップして、どんな形の旋律をつくったのか、分かるようにしておきましょう。そして次は、違った形の旋律をつくってみましょう。さっきのAさんとBさんの旋律は、上がって下がる山型の旋律でしたね。

お気に入りの旋律ができたら、いくつかスクリーンショットをして記録しておきましょう。そして、鍵盤ハーモニカやリコーダーなどで必ず演奏してみましょう。



音がだんだん上がると
どんな感じがしますか。

盛り上がって、音楽が広がる
ような感じがします。



では、音がだんだん下がる
とどんな感じがしますか。

落ち着いた感じで、音楽が終
わっていくような感じがします。



ポイント

- ・音の上がり下がりについて、「上がれば」「下がれば」「ジグザグにすれば」「あまり変化がなければ」「最後の音を○の音にすると終わる感じ（続く感じ）」など、旋律の形によってどのような特徴があるか（どのような感じがするか）を学級全体で共有します。
- ・和音の構成音でつくるので、ジグザグといっても必ず音が跳躍します。したがって、大きなジグザグ、小さなジグザグ、あまり動かない、などといった、説明があるとよいでしょう。音を再生しながらいろいろな音のつなげ方を試し、気に入った旋律を見付けるようにします。

評価

①知 音やフレーズをつなげている表現や発言の内容、行動を観察して評価します。二次元コードでの表現内容によって、音のつなげ方の特徴が生み出すよさや面白さなどを理解しているかについても評価します。

ステップ2 「呼びかけとこたえ」を用いて旋律をつくる。

1 指導者がつくった「呼びかけ」の旋律に対して「こたえ」の旋律をつくる。



先生が前半の旋律をつくるので、みんなは後半の旋律をつくりましょう。
前半は、先生がつくった旋律をそのまま入力してください。
先生の「音の上がり下がり」を受けて、後半の旋律をつくってみてください。

ポイント

- ・指導者がつくった前半の旋律（呼びかけ）を再生して聴くようにし、そこで聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、後半の旋律（こたえ）をつくります。その際、前半の旋律（呼びかけ）にこたえるように音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについての思いや意図をもつかにつなげていくようにします。

<例1>

● 音の上がり下がりの中から音の動き方を選びましょう。
● 和音にふくまれる音の中から音を選んで、4小節の旋律をつくりましょう。

音の上がり下がり
旋律をつくるリズム
和音にふくまれる音
選んだ音

和音と低音をさく

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

♩ = 88

リセット

先生が「上がっていく」形だから、僕は「下がっていく」形にして落ち着いた感じにしました。



<例2>

● 音の上がり下がりの中から音の動き方を選びましょう。
● 和音にふくまれる音の中から音を選んで、4小節の旋律をつくりましょう。

音の上がり下がり
旋律をつくるリズム
和音にふくまれる音
選んだ音

和音と低音をさく

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

♩ = 88

リセット

前半の終わりの音がドだから、後半の始めの音も同じドにして、しりとりみたいになりました。



<例3>

● 音の上がり下がりの中から音の動き方を選びましょう。
● 和音にふくまれる音の中から音を選んで、4小節の旋律をつくりましょう。

音の上がり下がり
旋律をつくるリズム
和音にふくまれる音
選んだ音

和音と低音をさく

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

♩ = 88

リセット

前半が「下がってから上がる」形だから、後半も同じ形にして、徐々に盛り上がる感じにしました。



<例4>

● 音の上がり下がりの中から音の動き方を選びましょう。
● 和音にふくまれる音の中から音を選んで、4小節の旋律をつくりましょう。

音の上がり下がり
旋律をつくるリズム
和音にふくまれる音
選んだ音

和音と低音をさく

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

♩ = 88

リセット

前半が「上がってから下がる」形だから、後半を逆に「下がってから上がる」形にすると、最後に向かって盛り上がる感じがします。



<例5>

● 音の上がり下がりの中から音の動き方を選びましょう。
● 和音にふくまれる音の中から音を選んで、4小節の旋律をつくりましょう。

音の上がり下がり
旋律をつくるリズム
和音にふくまれる音
選んだ音

和音と低音をさく

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

♩ = 88

リセット

前半も後半も、同じように「音の高さがあまり変わらない」形にすると、穏やかな感じになっていいと思います。



<例6>

● 音の上がり下がりの中から音の動き方を選びましょう。
● 和音にふくまれる音の中から音を選んで、4小節の旋律をつくりましょう。

音の上がり下がり
旋律をつくるリズム
和音にふくまれる音
選んだ音

和音と低音をさく

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

♩ = 88

リセット

前半が「音の高さが大きく変わる」形なので、後半は全く高さを変えないようにすると、対照的で面白いと思いました。



ポイント

- ・子供がつくった旋律を学級全体に紹介し、よかったところを共有する活動も大切です。また、指導者と子供の役割を交代することも活動に入れてもよいでしょう。指導者は、子供がつくった旋律のどこがよかったのか、子供がうれしくなるような価値付けをするとよいでしょう。

評価

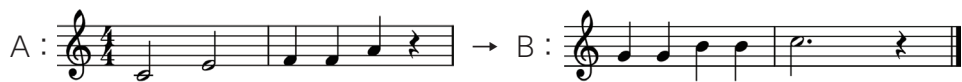
- ②技 子供の周りを机間指導しながら、子供が音の選び方やつなげ方によって旋律の感じが変わること気付いて旋律をつくっているか、発言内容や活動の様子、表現内容を見ながら評価します。

2 ペアになり、鍵盤ハーモニカなどで「呼びかけとこたえ」を用いて前半2小節+後半2小節による4小節の旋律をつくる。



- ① Aさんの「呼びかけ」に、Bさんが「こたえ」るように旋律をつくりましょう。タブレット端末で旋律をつくったら、必ず鍵盤ハーモニカなどでも弾いてみましょう。
- ② うまくできたら、いろいろな音の上がり方や下がり方を試してみてください。
- ③ Aさん→Bさんの順番（呼びかけとこたえ）を逆にしてもいいですね。

<例1>



Aさんがだんだん上がっていったから、私も続けて上がっていくようにしました。

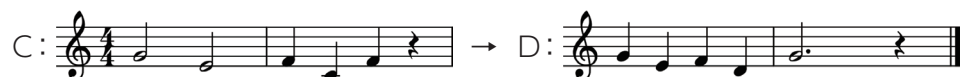


前半と後半が両方とも上がっていく形の旋律なので、最後に向かって徐々に盛り上がっていく感じがします。



二人で最後まで力を抜かずに支え合っているような旋律になりましたね。

<例2>



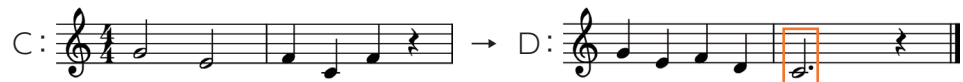
Cさんの旋律がジグザグに動いたので、私もジグザグに動いてみました。



できあがった旋律はいい感じだと思います。でも、終わった感じがしないのはどうしてなんだろう。



では、終わりの音をソ以外の音にしてみるとどうなりますか。



ドにしたら、終わった感じがします。



そうですね。選ぶ音で印象が変わってきますね。

このように、つくった旋律を聴いて、気付いたことや感じ取ったことを伝え合いましょう。いろいろな音を使って試してみるとよいですね。

ポイント

- ・どのような思いや意図をもって旋律をつくったのか、出来上がった旋律にどのような印象をもったのかを伝え合うようにします。また、旋律の形が違ういくつかのペアに発表を促し、自分がつくった旋律と似ていたり違っていたりすることに触れながら、互いの作品についての考えなどを共有することも大切です。

評価

思① 言語表現が不十分な子供たちには、のびやかな とんでいくような 落ち着いた おだやかな 静かな だんだん〇〇 その他 () のように、言葉のヒントから選ぶ形式のワークシートを作成しておく、どのような思いや意図をもって全体のまとまりを意識して音楽をつくっていったのかを評価する参考になります。

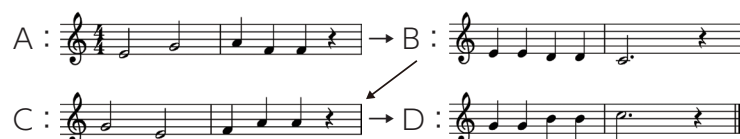
ステップ3 四人の組になり、旋律をどのようにつなげるかを考え、8小節の音楽をつくる。その後、学級全体で聴き合い、音楽のよさや面白さを共有する。

- 1 四人で呼びかける役とこたえる役を交代しながらつなげ方を試して、8小節の旋律をつくる（タブレット端末2台と鍵盤ハーモニカなどを使用、ワークシートを活用）。



それでは、四人の組になって、2小節の旋律をつなげていきましょう。どんな形の旋律にしたいか、グループごとに考えながら進めてください。

<例1>



「<例1>の再生」



(タップまたは読み取り)



どんな感じでしたか。よかったところを伝えてあげてください。



前半のAさんとBさんの旋律は落ち着く感じで、後半のCさんとDさんは盛り上がる感じになっているところが面白いと思います。

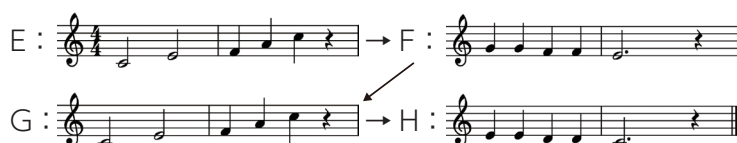


音の上がり下がりが反対になっているところが面白いです。



音の上がり下がりが反対になっているところに、よく気付きましたね。実際に音の上がり下がりの方を線で書いてみると、さらによく分かります。和音や低音の響きの移り変わりは同じでも、旋律の音の上がり下がりによって音楽の感じがずいぶん変わりましたね。ここが今回の旋律づくりの面白いところです。

<例2>



「<例2>の再生」



(タップまたは読み取り)



面白いところがたくさんありましたね。伝えてあげてください。



EさんとGさんが同じ旋律だったところが面白いと思います。



同じ旋律だとどうして面白いと思ったのかな。



同じ旋律が出てくると、「さっきと同じだ」と意識がそちらへ傾きます。



Eさんたちの作品は、何かの歌と共通するところがありますか。4年生で習った……



そうだ、「とんび」だ。



よく分かりましたね。「とんび」も同じ旋律が繰り返されていましたね。教科書に載っている曲と同じつくり方ができたこのグループはすごいですね。

4小節を1人でつくることもいいと思いますが、二人や四人でつくるといろいろなアイデアが出てきて面白いですね。

ポイント

- ・ここでは、和音や低音の響きの移り変わりは同じでも、旋律の音の上がり下がりによって音楽の感じが変えることや、今までの学習を生かして音楽をつくっていることのよさを価値付けすることが大切です。そして、今までは4小節で呼びかけとこたえの旋律をつくっていましたが、8小節にすることで、4小節ずつの大きなフレーズによる呼びかけとこたえの旋律づくりが体験できることも重要なポイントです。

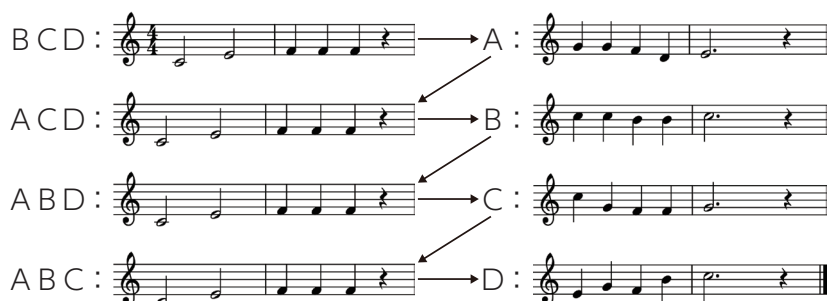
評価

態① 二次元コードのコンテンツでの旋律づくりから、実際の楽器での旋律づくりまでを通して、行動の観察や発言内容、表現内容から、和音の響きやその移り変わりを感じ取りながら旋律をつくる学習に興味・関心をもっているかを見取りつつ、友達と呼びかけとこたえを用いて旋律のつな

げ方を試す様子から、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に取り組もうとしているかを継続的に見ていきます。

2 四人の組で、ロンド形式の音楽をつくる。(余裕があれば)

<例>



評価ガイド

本学習は、学習指導要領のA表現(3)音楽づくりの(イ)*の指導項目に当たる内容です。この学習を無理なく展開するには、**ステップ1**の**2**で、タブレット端末を使用して旋律をつくることに慣れ、「旋律をつくるのが楽しい」という気持ちをもつようにすることが大切です。この学習活動は二次元コードのコンテンツで行い、和音の構成音のみを使って旋律をつくるため、失敗がありません。そのため、ほとんどの子供がB評価と考えられます。そこで、**ステップ2**では「呼びかけとこたえ」の音楽の仕組みを用いて旋律をつくります。子供たちは、指導者や友達の「呼びかけ」の旋律から聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えながら、様々な「こたえ」の旋律をつくろうと試行錯誤します。今までの学習で培ってきた知識を使い、音を音楽へと構成しながら自分の思いや意図を旋律に表していきます。

Aと評価される子供は、例えば、音の上がり下がりやの形が違ういくつかの旋律をつくっていたり、自分や友達のつくった旋律にはどのような特徴があるかを説明できたり、そこから生まれる音楽のイメージを伝えたりして、つくった旋律のよさや面白さを具体的に説明できている状況のことといえます。

*音楽づくりのア、イ及びウの各指導事項の(イ)

他題材や他学年との関連

本題材で初めて取り扱うⅠ、Ⅳ、(Ⅴ、Ⅵ)Ⅶの和音と低音の響きの移り変わりの美しさを感じ取りながら行う旋律づくりは、今後の学習活動全てにおいて関わりをもつことになります。和音の響きの移り変わりを聴きながら歌唱の学習に取り組んだり、和音や低音を聴きながら音楽の縦と横との関係を意識して器楽の学習に取り組んだりすることが期待されます。また、後半の題材『8. 思いを表現に生かそう』でも活用され、「威風堂々」の和音と低音の移り変わりとともに、旋律の音の上がり下がりやリズム、速度や強弱など、いろいろな音楽を形づくっている要素が関わり合って作り出される曲想を味わい、その特徴を捉えて器楽合奏する学習にもつながります。本題材での旋律づくりは、音楽のもつ特徴をしっかりと聴き取り、音楽のよさや面白さ、美しさを十分に感じ取りながら、音楽的な見方・考え方を広げ深めていく学習であると考えています。

ワークシート

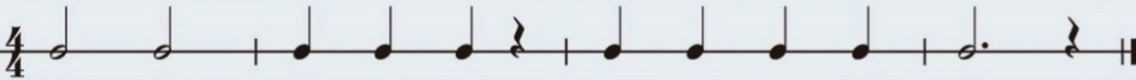
「静かにねむれ」の和音で^{せんりつ}旋律づくり1

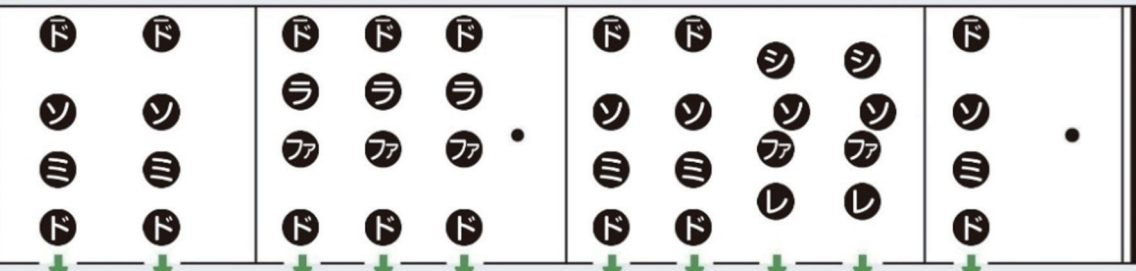
組 ①

②

- 音の上がり下がりの中から音の動き方を選びましょう。
- 和音にふくまれる音の中から音を選んで、4小節の旋律をつくりましょう。

音の上がり下がり > 

旋律をつくるリズム > 

和音にふくまれる音 > 

選んだ音 > 

音楽の感じ > 

「音楽の感じ」は、自分で考えた言葉や、次の言葉のヒントから選んで書きましょう。

「静かにねむれ」の和音で旋律づくり^{せんりつ}2

組 ①②

③④

音の上がり下がり ↑ ↓																
旋律をつくるリズム																
和音にふくまれる音	ド ド ラ ラ ラ .				ソ ソ シ シ .				ラ ラ ラ .				ソ ソ シ シ .			
選んだ音	☐ ☐ ☒ ☐				☐ ☐ ☒ ☐				☐ ☐ ☒ ☐				☐ ☐ ☒ ☐			
こんな旋律にしたい																

* 四人でつくった音楽のお気に入りはこちら